



浦野 勇次さん (36)
小諸商工会議所勤務
(勤続年数11年目)

人とのつながりが、
会社の未来を明るくし、
小諸を明るくする

商 工会議所は、商工業の発展や改善を目的として、

商工業者によって組織される自由会員制の団体です。事業内容には、商工業の経営者との情報交換をきっかけに、更なる商工業の発展のために必要なことを国や県に提言しています。その他にも、企業の融資支援、補助金の支援、海外への物流関係などがあります。

商

工会議所内の一つの組織として、45歳以下の経営者メンバーで構成される「青年部」が存在します。青年部の事務局を担当している中では、この「青年部」の活動が商工業

の発展や地域活性化には欠かせないものだと考えています。

青年部では、飲食ブースを設けたイベントを企画し、大勢のお客さんをお呼びすることで、地域活性化を推進する取り組みをしています。以前開催したイベントは、サッカーのワールドカップの試合をみんな観戦するパブリックビューイングを企画。参加者が500人を超えるほどの大盛況ぶりでした。

イ

ベント開催のほかに違った形で地域活性化のアプローチもしています。それは、自身の会社を良くして地域活性化を実現していくものです。青年部には様々な分野の経営者が集まるため「異業種交流」ができます。異なった業種で

住まいは立科町。趣味はスポーツ全般で、特に野球は大学までずっと続けてきた。

26歳のときに、以前の職場から商工会議所へ転職、その後間もなくして結婚、子どもを授かるなど人生の転機を迎えた。現在は、2児のパパで仕事と家庭を両立する。

つながりを大切にする小諸



- ① 毎年10月に開催される「信州小諸ふーどまつり」には、青年部の皆さんが飲食ブースを構え、まつりに更なるにぎわいをもたらす。
- ② 異業種交流から今の若手経営者に必要な経営ノウハウを学ぶため研修会等の機会を設ける。
- ③ 地域活性化の一環として青年部が企画したサッカー観戦のパブリックビューイング。

交流できる場は他には中々無く、貴重な場となっています。

交流の中で、個々に抱える経営者の悩みが見えてきます。悩みを解消するために研修会を開催するなど自己研鑽の機会を自分たちでつくり、経営のノウハウを学んでいきます。このことは青年部の強みであり、まずは自身の会社の足元

を見つめ、のちに地域活性化へつなげていきます。

青

年部の活動を続ける中で、必然的に人とのつながりができるのも魅力の一つです。人とのつながりは商売を生みます。そして、困ったときに助け合える関係を築けます。小諸は、人とのつながりを持ちやすい環境にあり、また情

青

年部で築けたつながりは、私のなかで大切な財産であり、気付いたら8年間も事務局を担当。商工会議所は、商工業の発展と地域活性化のため、事業者の皆さんと損得抜きで正面と向き合うことができます。